

2018年12月19日

学校法人瓜生山学園
京都造形芸術大学人事企画課

京都造形芸術大学 契約職員(副手)の募集について

京都造形芸術大学は、「芸術的創造と哲学的思索によって、良心を手腕に運用する新しい人間観、世界観の創造を目指す」という建学理念のもと、「人間力」と「創造力」を育み、特色ある教育手法と社会連携による実践的な学びによって、新たな価値を社会に発信し続けることのできる自立した人材の育成をはかっています。本主旨を理解し、学科運営のサポート全般を担っていただく契約職員(副手)を募集いたします。

- 1.募集職種 副手
- 2.雇用形態 契約職員
- 3.職務内容 教員と協働しながら、上司職員のもとで学科運営のサポート全般に従事。
学生対応、授業準備、研究室事務補助、展覧会における搬入出業務、学生募集活動行事(オープンキャンパス)、入試など
- 4.勤務地・配属先 京都造形芸術大学(京都市左京区北白川瓜生山2-116)「5.募集人数」に記載する学科

5.募集人数

募集学科	募集人数(予定)
空間演出デザイン学科	1名
環境デザイン学科	1名
映画学科	1名

6.応募資格

共通	①大卒以上 *短大卒で学士の資格を有する方も可 ②本学の建学理念に賛同していただけること ③学生の立場に立った生活・学習・制作支援を積極的に行っていただけること ④応募する学科の専門分野・教育内容について基礎的知識ならびに深い興味・関心を持ち、当該学科の教育活動に熱意を持って取り組んでいただけること ⑤パソコンの基本操作が行えること 主に Microsoft Office(文書作成及び表計算処理など)	
学科別	空間演出デザイン学科	以下1)~4)に対応できることが望ましい。 1)グラフィック系ソフトの Adobe Illustrator、Photoshop を使いこなせること、Web デザインの操作ができること。 2)空間デザインの設計基本知識を持ち、CAD ソフトの Vector works あるいは Auto cad の操作ができ、それらを踏まえて学生への技術支援ができること。 3)ストロボ機材の扱いを含む、写真撮影の基礎知識があること。 4)シルク印刷の基礎知識を持ち、工房の機材が取り扱えること。
	環境デザイン学科	Adobe Illustrator、Photoshop を使いこなせること(ビジュアルデザイン、編集および制作)、建築用 CAD が使えることが望ましい。 普通自動車運転免許を所有しているとなお良い。

	映画学科	<p>映画・映像制作への一連のワークフロー（特に録音・整音に関して）を理解しており、それに伴う機材、施設、Adobe Premiere、ProTools 等の編集ソフトの扱いについて長けていることが望ましい。</p> <p>学生への技術指導や簡易的な機材メンテナンスに対応できるスキルを持っていること。</p>
--	------	---

【学科からのメッセージ】

空間演出デザイン学科

空間デザインコースの副手として、学生対応や環境整備、コース事務業務、授業準備、技術指導補助、イベント準備、教員対応など多岐に渡る業務を通じて、制作から業務運営まで幅広い能力を磨きながら、成長とキャリア経験を積んでいただけます。教育現場の中で、どんな時も冷静かつ前向きに頑張れる方をお待ちしています。

環境デザイン学科

学生の窓口として、元気で明るく実直な方、職員として、学生目線でサポートし、上司職員と良好なコミュニケーションの取れる方を望みます。また、新卒であれば、学生気分を払拭し社会人として恥ずかしくない倫理観やマナーを持ち前向きな方を、既卒者であれば社会での経験値に満足することなく大学職員としてふさわしい新たな高い意識を持った方を切に希望します。

映画学科

映画学科は教職員一丸となった学生支援・学科運営体制となっています。大小様々なことが起こる現場での柔軟な対応、学生・教職員と真摯に向き合い、学科にとり何が有効なのか、それにあたって自身は何かができるのかを共に考えてくださる意欲のある方をお待ちしております。

7.応募方法

下記、応募書類一式を、郵送にてご提出ください

* 応募締切日、応募宛先は、以下 8.および 13.をご参照ください

【応募書類】

▼必須提出

①職員採用エントリーシート(履歴書)

* 必ず、指定書式「職員採用エントリーシート」を使用してください

「職員採用エントリーシート」は、以下よりダウンロードできます

pdf 版 https://www.kyoto-art.ac.jp/other/staff/submission/entry20181219_02.pdf

word 版 https://www.kyoto-art.ac.jp/other/staff/submission/entry20181219_02.docx

* 必ず、エントリーシート冒頭の「応募学科名」欄に記入してください。

* 応募学科の選考に漏れた場合、本募集要項掲載の他学科の選考を「希望する/しない」についても、必ず回答してください。未記入の場合は、「希望しない」ものとして取り扱います

②職務経歴書

③志望理由書(800字程度)

④返信用封筒(宛名明記、定型封筒に82円切手貼付)

* ②職務経歴書、③志望理由書には、指定書式を設けていませんが、A4サイズの用紙を使用し、作成のうえご提出ください

▼任意提出(必須で提出を求める書類ではありません)

⑤自己PR資料

* ②職務経歴書、③志望理由書に加えて、アピールしたいことがあれば、A4 サイズの用紙を使用し、5 枚以内で資料を作成のうえご提出ください

※応募の秘密は厳守します

※応募書類は返却いたしませんので予めご了承ください

※応募にあたってご提出いただいた個人情報は本学規定にしたがい適切に管理し、採用選考の目的以外には使用しません

8.応募締切 2019 年 1 月 23 日(水) 17:00 必着

9.選考プロセス 応募締切日以降、以下の選考プロセスにしたがって進めていきます
 応募締切日までの間は選考は行いません
 ※選考日程は変更になる場合があります

【step1】書類選考 2019 年 1 月 24 日(木)～1 月 30 日(水)

【step2】面接選考

2019 年 2 月 7 日(木)17:30～	空間演出デザイン学科
	環境デザイン学科
	映画学科
2019 年 2 月 8 日(金)17:30～	環境デザイン学科
	映画学科

【内定】

10.採用日 2019 年 4 月 1 日付

11.条件

給与	月額 180,000 円
諸手当	住宅手当 月額 15,000 円(世帯主のみ) 家族手当 (1)満 18 歳未満の子/月額 10,000 円(被扶養者のみ) (2)障害等級 1 級、要介護 3 以上/月額 5,000 円 (被扶養者のみ) 通勤手当 6ヶ月定期代 年 2 回支給(限度額/月額 35,000 円) 超勤手当 有
賞与	年 2 回(6 月・12 月*2017 年度実績)
勤務時間	9 時 00 分～17 時 30 分(実働 7 時間 30 分) *時差勤務や超過勤務の場合もあります
休日・休暇	完全週休 2 日制(土・日曜日)、国民の祝日 *土・日曜日、祝日出勤(振替休日取得)の場合もあります 特別休暇 8 日/年 年末年始休暇 2017 年度実績/2017 年 12 月 28 日(木)～2018 年 1 月 5 日(金) 有給休暇 有(初年次 10 日/年) 育児休業および介護休業制度有
退職金	なし
その他	私学共済(健保・年金加入)、雇用保険および労災保険、健康診断の実施、私学共済の契約施設の利用(直営宿泊施設の利用や、百貨店・専門店などの利用割引、宿泊施設・厚生施設・スポーツ施設の利用補助等)、学費減免制度(藝術学舎(京都、大阪、東京)、京都造形芸術大学通信教育課程等)

※2018 年度の年間休日数 130 日(有給休暇含めず)

12.契約期間 2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日
 ※試用期間 3 ヶ月あり(試用期間における労働条件も上記 11.と同様)
 ※契約更新は年度単位で行い、原則 1 回までです

(契約期間満了時の本人の就業能力、勤務態度、担当業務の進捗状況を確認し、双方合意のうえ、3 回を上限として契約更新することがあります)

13.応募宛先 応募封筒の表面に「〇〇学科 副手応募」と朱書きで明記のうえ、

応募書類一式を、郵送にてご提出ください

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
京都造形芸術大学 人事企画課 採用係

14.問い合わせ先 電話 TEL 075-791-9122(代表)/人事企画課(平日 9:00~17:30)
e-mail: jinji@office.kyoto-art.ac.jp

◆ご応募の前に本学 web より『京都文藝復興』、『藝術立国』、『通信による芸術教育の開学にあたって』、『まだ見ぬわかものたちに』を必ずご一読ください。

URL: 大学案内 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/>

『京都文藝復興』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/hukkou.pdf>

『藝術立国』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/artsnation.pdf>

『通信による芸術教育の開学にあたって』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/tsushin.pdf>

『まだ見ぬわかものたちに』 <http://www.kyoto-art.ac.jp/info/about/philosophy/pdf/young.pdf>

以 上